

宮城県石巻市金華山における 環境再生活動

〒983-0851
宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ23
<http://first-ascent.org>



復興支援達成

3年目

実践



ボルダリングイベントの様子

カシノナガキクイムシ捕獲数 12,134頭

ボルダリングイベント 4回

今年度計画の達成度 70%

活動の全体目標に対する達成度 60%

苦勞した点と工夫した点



■ 苦勞した点

震災以降復旧されていない金華山は、さらに年々道が崩れ整備が追いつかなくなってきた。

■ 工夫した点

ナラ枯れの原因カシノナガキクイムシを大量に捕獲できる捕虫基を東北で初めて設置。国立公園で国有地内の場所のため関係省庁に綿密に相談した。ナラ枯れ被害防除につながった。

課題

金華山の震災復興を促進するために、ボルダリングによる新たな観光振興によって、復旧作業や自然環境への関心を高め、地域資源である金華山の森林再生事業につなげる。

目標

自然資源を活かした魅力溢れる島にする。金華山の魅力を多くの人に知ってもらう。

活動内容と成果

金華山のクライミングエリアは昨年イギリスで発売された世界の岩場39箇所を紹介する本に日本の岩場として唯一紹介されるエリアとなった。また、ボルダリングイベントを4回、兵庫県尼崎市でシンポジウムも開催し広範囲で周知ができた。

シンポジウム「金華山のナラ枯れを抑えるため」を牡鹿半島鮎川にて開催。講師は京都府森林技術センター小林正秀氏。

カシノナガキクイムシ捕虫基カシナガトラップを10基設置し東北他県データと桁違いとなる12,134頭を捕獲。新しいナラ枯れ被害を防げた。



ナラ枯れを抑えるため開催した勉強会

全助成期間の活動を振り返って

震災復興は長い年月を要することだと地域住民とともに実感する一方で、金華山の活動は多くのメディアに取り上げられ地域の人々にも浸透していった。地域の方々が「金華山はボルダリングで世界的にも有名で若い人たちが登りに来てくれるんだ」と紹介してくれるようになった。ボルダリング×グリーン復興の一風変わった活動は、金華山のランドスケープとスポーツが持つ明るい力で地域の方々の心の復興に少しは寄与できたように思う。



金華山に設置したカシナガトラップ

今後の展望

金華山の魅力を再発見し、地域の人々の誇りとなり心の震災復興につながる活動ができた。認知度もアップしたので、地域の方々の協働体制を構築していきたい。また、オリンピック競技になったボルダリングは競技人口増が見込まれるため登山道整備、特に深刻な土砂流出の原因となるナラ枯れ防除を含めた環境整備も引き続き推し進め、人々の来島を促すことで経済活動の停滞を打開し、グリーン復興に寄与すべく活動していきたい。